

オピオイド製剤のプロファイル

成分	商品名	採用規格	ラグタイム	Tmax	効果判定	半減期	作用持続	定期投与間隔
トラマドール	トラマールOD錠	25mg、50mg	1時間	2時間	1～2時間	6～7時間	6時間	4～6時間
タペンタドール	タペンタ錠	25mg、50mg、100mg		5時間	5時間	5時間	12時間	12時間
モルヒネ	塩酸モルヒネ散		10～15分	30～60分	1時間	2～3時間	3～5時間	4時間
	塩酸モルヒネ水							
	オプソ内服液	5mg・2.5mL/包						
		10mg・5mL/包						
	ピーガード錠	20mg、30mg	40～60分	4～6時間	4～6時間	22時間	24時間	24時間
アンペック坐剤	10mg、20mg	20分	1～2時間	1～2時間	4～6時間	6～10時間	8時間	
オキシコドン	オキシコンチン錠	5mg、10mg	1時間	2～3時間	2～4時間	6～9時間	12時間	12時間 (8時間)
		20mg、40mg						
	オキノーム散	2.5mg (0.5g) /包 5mg (1.0g) /包	12分	100～120分	100～120分	4.5～6時間	4～6時間	4～6時間
フェンタニル	フェントステープ	1mg、2mg、4mg、8mg	—	約24時間	72時間	27～37時間	24時間	24時間

【 オピオイドローテーション注意点 】

「内服薬」⇒「貼付剤」

オキシコンチン錠、アンペック坐剤

→ 貼付と同時に1回分を投与

ピーガード錠

→ 1回分投与12時間後に貼付

オプソ内服液、モルヒネ末

→ 貼付時および貼付4時間後に投与

「内服」⇒「注射薬」

痛みや副作用の状態を確認し、

1日量の1/3（静注）～1/2（皮下注）に

設定して先行薬剤投与予定時間に

注射を開始

「注射薬」⇒「内服薬」「貼付剤」 「貼付剤」⇒「内服薬」「注射薬」

1日注入量の約2倍を経口モルヒネ1日量として計算

フェントステープに変更

→ 貼付後6時間後に持続を中止

ピーガード錠に変更 → 服用3時間後に中止

オキシコンチン錠に変更 → 服用直後に中止

Or

モルヒネ注射量の半量を相当量の経口投与に変更

（経口投与量は切り替えるべき注射量の半量の2～3倍）

→ 半量をそのまま注射量

痛みがなく良好にコントロールできていたら

→ 全量を経口投与に変更

パッチ剥離後6～12時間後に切り替え薬の

投与を開始

トラマールから強オピオイドへの変更

オピオイド換算表を参照し切り替えてください

ローテーション時に発現した突発痛には

レスキューを使用してください

不明な点はがん診療支援チーム担当医師

または薬剤師に遠慮なくご相談ください

JA尾道総合病院 がん診療支援チーム

2010.07 作成 2015.04 改訂